

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

幕末開国期から相次いで海外に出かけた日本の指導層は、西洋諸国の都市の緑に驚嘆した。ロンドンの広場や公園、パリの街路樹や庭園は高い評価を受け、さらにはまだ都市域が拡大中で市内各所に建設現場が見られる①コンランのベルリンですら、緑豊かな都市だと見えたのである。②

一方、幕末から文明開化期に來日した西洋人は、皆等しく緑が多い日本の都市に感嘆の声を上げた。当時の見聞記をひもとくと、とりわけ江戸・東京には賞賛の声が集中している。江戸・東京は、③緑の海のなかに町がモザイクのようにちりばめられているかのような記述が現れる。日本の都市は自然を最大限取り入れた都市のあるべき姿を体現しているとみなされたようだ。④

⑤、どちらが⑥真実の観察者なのか。西洋の都市に理想を見た日本人か、日本の都市に理想を見た西洋人か。実情は、ロンドンに比べて東京の方にはるかに豊かな「緑の存在」があり、ロンドンにはむしろ(注1)スモッグに彩られていた。⑦

おそらく⑧圧倒的な近代「X」の土台の上に西洋の都市が出来上がっている、と見えたからだろう。西洋の大都市には、上・下水道、舗装道路などの都市基盤施設の上に、目につく派手やかな「文明装置」として、⑨壮麗な劇場や美術館・博物館などが配置されていた。そこに存在する公園や街路樹なども自然よりは「文明の装置」として、むしろ人間の創造物として受け止められた。それらは日本の都市に普通に存在するありふれた「自然」である池や川、森の茂みとは違って、「文明」の側にあると見えたのである。⑩

こうして日本の文明開化期において、公園設置や街路樹植栽という「緑化」は「文明化」の必須⑪カダイとして取り入れられた。が、そこでイメージされる「緑」は「文明の緑」であって、池や湖や川は抜け落ちていた。

(白幡洋三郎の文章より)

(語注) 1 スモッグー工場から出る煙などが霧のように空にたちこめたもの

3点×5 問一 〓線部⑦⑧のカタカナを漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

ア	がいろじゆ	イ	混乱	ウ	あつとう	エ	そうれい	オ	課題
---	-------	---	----	---	------	---	------	---	----

2点×2 問二 I、II にあてはまる最も適当な言葉をア～オの中から選び、記号で答えなさい。
ア しかし イ なぜなら ウ いたい エ まるで オ ところが

I	エ	II	ウ
---	---	----	---

3点 問三 X にあてはまる最も適当な言葉を本文中から二字で抜き出して答えなさい。

文	明
---	---

4点 問四 ー線部①「真実の観察者」とは具体的に何を指しているか。本文中の語句を使って答えなさい。

幕	末	開	国	期	に	海	外	に	出	か	け	た	日	本	の	指	導	層
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

と

幕	末	に	文	明	開	化	期	に	来	日	し	た	西	洋	人
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3点 問五 次の文章はA～Dのどこに入れるのが適当か。最も適当な箇所を、記号で答えなさい。

それなのに日本人はどうして身近にある緑豊かな日本の都市に理想を見ず、西洋の都市、それも大都市に理想を見たのだろうか。

【一】次の古文を読み、後の問いに答えなさい。

仁和寺にんなんじにある法師、年寄るまでいはいしみず（注1）石清水を拝まざりければ、（注2）心うく覚えて、あるとき⑦思おもひたちて、①ただ一人、徒歩かちより詣まうでけり。極楽寺ごくらくじ・高良かうらなどを拝みて、（注3）かばかりと心得て帰りにけり。

さて、（注4）かたへの人に⑧あひて、②年としごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにも過ぎて、尊く③こそおはし「けり」。

（注5）そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、何事かありけん、（注6）ゆかしかりしかど、神へ参るこそ（注7）本意なれと思ひて、山までは見えずとぞ言ひける。

④少しのことにも、（注8）先達せんたちはあらまほしきことなり。

（語注）

- 1 石清水―国室石清水八幡宮（京都府八幡市にある日本三十八幡宮の一つで、山全体が八幡宮である）
- 2 心うく覚えて―残念に思つて。残念に感じられて。
- 3 かばかりと心得て―これだけと思ひ込んで。
- 4 かたへの人―仲間の層
- 5 そも―それにしても。
- 6 ゆかしかりしかど―心が引かれましたが。
- 7 本意―本来の意味。まことの意味。本文では、本来の目的と訳す。
- 8 先達―先に立って案内する人。本文では、案内人と訳す。

（ 『徒然草』より ）

問一 ―線部の⑦を現代仮名づかいに直して答えなさい。

⑦
思いたちて
①
あいて

問二 ―線部①「ただ一人、徒歩より詣でけり」を現代語訳しなさい。

たった一人で徒歩で参拝した

問三 ―線部②は「長年思つていたことを果たせた」と訳すが、「年ごろ思いつること」とは具体的にどのようなことか。答えなさい。

石清水八幡宮へ参拝すること

問四 ―線部③「こそ」の係助詞の結びとして、「けり」の適当な活用形を、ア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

ア けら
イ ける
ウ けり
エ けれ
エ

問五 ―線部④「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり」とあるが、その理由として最も適当なものをア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 一番大切な山の上にある神社を探したが、見つけられずに帰ってきたので、山を知り尽くした案内人が必要だと思った。
 - イ 石清水八幡宮まで一人で登ったので、帰り道に迷ってしまった、何十年も通っている案内人が必要だと思った。
 - ウ 山の頂上からの帰り道に、仲間の僧侶に会ってしまったので、抜け道を知っている案内人が必要だと思った。
 - エ 山の上にある上院を知らず、極楽寺・高良だけを参拝して帰ってきたので、八幡宮に詳しい案内人が必要だと思った。
- | |
|---|
| エ |
|---|

【三】次の―線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ①金メダル獲得の吉報を待ち望む。 ②航海中の船が浅瀬で座礁した。 ③哲学者プラトン。 ④湾岸道路をドライブする。
- | | |
|---|--------|
| ① | きつぼう |
| ② | あさせ |
| ③ | てつがくしや |
| ④ | わんがん |

【四】次の―線部のカタカナを漢字で答えなさい。

- ①フクシの仕事にかかわる。 ②日本の平均ジユミヨウが伸びる。 ③新しいキカクを考案した。 ④公共のシセツを利用する。
- | | |
|---|----|
| ① | 福祉 |
| ② | 寿命 |
| ③ | 企画 |
| ④ | 施設 |

【五】次の①～④の語が対義語になるように□から適語を選び、漢字一字に直して答えなさい。

- ①警戒 ↑ ↓ 油□ ②貯蓄 ↑ ↓ 消□ ③急性 ↑ ↓ □性 ④攻撃 ↑ ↓ □御
- | | |
|---|---|
| ① | 断 |
| ② | 費 |
| ③ | 慢 |
| ④ | 防 |

だん ・ まん ・ ひ ・ ぼう

【六】次の①～④の四字熟語には漢字の誤りが一字あります。その漢字を抜き出し、正しい漢字に直して答えなさい。

- ①意気昇沈 ②一綱打陳 ③悪線苦闘 ④危機一発

①	正	誤
	消	昇
②	正	誤
	尽	陳
③	正	誤
	戦	線
④	正	誤
	髪	発

受験番号